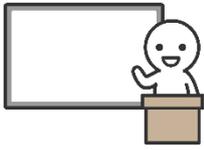




「進路体験発表会」



先日の「進路体験発表会」、先輩の体験談を聴いてどう感じたでしょうか。
就職にせよ進学にせよ、内定や合格は就職活動や受験のゴールであるとともに新たなスタートでもあるわけですが、何にせよ本気で頑張った経験は、その後の困難や変化を乗り越えるための大きな原動力になることは間違いありません。

自分自身で考えて努力して進路を選びとった人は、これから先、新たな試練や岐路に立つことがあっても、自分にしっかり向き合って最適な選択をすることができると思います。自分の未来を自分の手でより良いものにするために、できない言い訳を探したり、ないものねだりをして不満を募らせるのではなく、努力次第で実現可能かつ納得のいく選択肢を見つけるために情報を集め、自ら行動することを習慣にしましょう。

進路が決まった4年生も、これから進路を考える下級生のみなさんも、それぞれが夢のある明るい方向に目を向けつつ地に足をつけて進み、希望に満ちた幸せな人生を歩んでいってほしいと心から願っています。あらためて、今年度の卒業生10名の進路内定先はつぎのとおりです。なお、就職の8名は正社員です。

県内就職：日本通運株式会社（事務職）、イオンディライトセキュリティ株式会社（施設警備）

第一熱処理工業株式会社（製造オペレーター）、株式会社堀越製作所（製造オペレーター）

株式会社セントラルサービス（森永製品の検品等請負業務）

県外就職：有限会社アート（千葉・美容師アシスタント）、小林建塗株式会社（新潟・左官技能士見習）

愛知陸運株式会社（東京・近距離配達ドライバー）

進 学：中央情報大学校ポップカルチャー学科

現在のアルバイト継続1名

大学の「指定校推薦」について

先日から、今年度本校定時制に指定校推薦枠をくださった大学名と学部・学科、推薦人数、推薦条件などを一覧にした表を各学年の教室に掲示してもらっています。過去10年間で、大学、短大に進学した生徒は各2名、いずれも県内、公募推薦や総合型選抜での合格、専門学校への進学も今年度の卒業予定者を含め2名と少数でしたが、現在は明確に大学などの進学を進路の第一志望とする生徒が多いので、指定校推薦についても参考までに掲載します。本紙面には詳細は載せられないので、掲示物で確認するか進路担当まで直接聞きに来てください。

ただし、来年度以降も同じ大学から指定校推薦枠がいただけるとは限らず、それぞれの大学で設けられている出席や学習成績の出願資格も毎年同じではありませんが、どんな条件にも対応できるように、推薦による進学希望者は学業成績の成果を残すことはもちろん、欠席もなくすよう努力しましょう。



【R7年度に指定校推薦枠をいただいた大学短大】

（県内大学）東京福祉大学（県内キャンパスあり）、関東学園大学

（県外大学）東京福祉大学（県外キャンパスあり）、多摩大学、聖学院大学、埼玉学園大学、日本文化大学

（県外短大）川口短期大学こども学科、京都外国語短期大学キャリア英語科（夜間課程）

（学部・学科）社会福祉学部、保育児童学部、心理学部、心理福祉学部、人間学部、教育学部、

経済学部、経営情報学部、法学部、経済経営学部、政治経済学部、日本文化学部など

（出願資格）入学の確約、1～4年の欠席日数20日以内、学習成績3.6以上など